

## 成績評価の指標

### 座学（教科科目）の学習評価

- ① 座学の各教科科目の試験は、年2回、前期座学試験と後期座学試験で実施し、学習評価を行う。
- ② 学習評価は、平常点40点（40%）+テスト60点（60%）で、各教科科目とも100点法で行い、前期試験と後期試験の合計点の相加平均が60点以上を合格とする。  
※平常点はレポートや課題提出などで算出
- ③ 前期座学試験で合格点（60点）に満たない教科科目があった場合、追（再）指導・試験（有料）を受け、合格者は追（再）試験の得点を60点として後期に進むことができる。
- ④ 年度（学年）末の学習評価で、合格点（60点）に満たない教科科目を1科目でも有する者は、進級もしくは卒業はできない。進級もしくは卒業の要件として、学年末に実施する追（再）試験に合格しなければならない。

### 実技（課題科目）の学習評価

- ① 実技の各課題科目の試験は、実技1次試験と実技2次試験で実施し、学習評価を行う。
- ② 学習評価は、平常点40点+実技テスト60点で、各課題科目は100点法で行う。尚、実技テストが36点（60%）に満たない者は追（再）試験を受験しなければならない。平常点（24点以上）+実技テスト（36点以上）で60点以上の者は合格とする。
- ③ 学習評価で、合格点（60点）に満たない課題科目を1科目でも有する者は、進級もしくは卒業はできない。進級もしくは卒業の要件として、実技1次及び実技2次の試験終了後に実施する追（再）試験に合格しなければならない。

### 学年末の成績評価

学年成績（評定）は、座学においては前期成績と後期成績の平均点で算出する。実習においては、実技試験の一次・二次試験等を実施し、学修成果を評価する。

学年末には1年を通した平均点をもとに学籍簿及び成績証明書には、上記100点法評価を5段階評定に読み替えた符号で表記する。（別表参照）

また、全教科科目の合計点の平均により順位を決定する。

100点法評価	5段階評定	可否
100点～90点	A	合格
89点～80点	B	
79点～70点	C	
69点～60点	D	
59以下	E	不合格